

エクストリームシリーズ 2016 那珂川大会

那珂川大会 2名チーム 優勝チームコメント

ファーストペンギン 上野 匡さん

ファーストペンギンのメンバーとして参加しました。当初参加予定だったのは、アドベンチャー歴2年強でありながら、上位チームでも活躍されるパワフル清水さん、ハセツネやウルトラの完走経験もあり、昨年の尾瀬大会のデビュー戦でミックス3位入賞を果たした長谷川さん、そしてここ数年は専らスタッフとしてへたれていた私、上野の3人でした。チーム結成時から、頻繁に情報交換し合い、3月末の平日には有休までとって自作地図でチーム練を行うなどの気合いの入りようでしたが、前日に長谷川さんが体調を崩してしまい、残念ながら当日は急遽2名オープンカテゴリーへとコンバートでした。

那珂川大会は自分にとって、12年前にスニーカーに綿Tシャツとジャージという完全場違い装備でアドベンチャーレースデビューした土地であること、2年目は大遭難してスタッフのお世話になったり、スタッフしながら河辺で凍えたり、昨年はナイトで彷徨いまくったあげく最後のCPを通過できないままに真夜中ゴールになったり、とほろ苦い思い出も残る大会です。今年も4月上旬には清水さんが緊急入院したり、当日には長谷川さんが体調不良になるなど、スタート前から暗雲が垂れ込めすぎでしたが、レースがはじまってみると清水さんのパワフルなオーラもあってか、絶好調な展開に。CP1は3位前後で通過。カヤックにはトップで到達しました。上位を狙うべく飛ばしていたところ、CP5『が』ロストして若干タイムロス。更に、CP8付近で急激に私の両脚がつるトラブルもあり順位ダウン。「動きながら治せ！」というどこかで聞いたことのある伝説級の名言をまさか自分がかげられるとは思ってもみませんでした。我慢しながら走り続け、CP9では、躲かれた上位2チームと僅差で3位。その後補給をこまめに繰り返しつつ走ると、CP10に到達するころには脚が治るから不思議なものです。気力も復活しつつ、レースは核心部294のピークからCP11へ。ここまでくると日も陰り、斜面の向きによっては地図が見えづらくなります。294から、うっかりあやまった痩せ尾根を降り、一瞬現在地をロストしましたが、鉄塔を確認してうまく修正。鉄塔付近からCP11は、冷静にコンパス合わせてあっさり発見で、1位通過！鉄塔付近で発生していた銀座を何食わぬ顔ですり抜け、ライトもつけてCP12までガツガツ走り後続はなし。CP13もピンポイントで発見でき、なんとボックスには、未だカードなし！ やった！！！！ いやいや、ここはバレないように静かに行動しなければ・・・とは思いつつも、逸る気持ちはまったく抑えきれず、2人で絶叫しながら転げるように斜面を駆け下り、ゴールにたどり着きました。2名チームのアドバンテージもありましたが、いろいろ思い出の残る那珂川大会を総合タイムトップでのゴールできたことは、本当に嬉しかったです。

4月上旬の忙しい中、今年は特に大勢集まってくれた選手の皆さん、ホスピタリティー溢れる地元の方々、入り組む地形に楽しいコースで安全な運営を提供してくれたスタッフの皆さん、レースをほほえましく見守ってくれた地域の方々と共にこの大会を楽しめた、本当によい1日でした。清水さん、ありがとー！長谷川さん、またいつか出よう！